㈱　金融商品の時価の算定方法に関する事項

⑴　現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑵　有価証券

有価証券は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

２．退職給付関係

⑴　採用している退職給付制度の概要

当事業団は退職一時金制度を設けております。厚生年金基金には加入しておりません。

⑵　退職給付債務に関する事項

（単位：円）

区　　分	平成27年３月31日現在
退職給付債務	4,831,384,952
退職給付引当金	4,831,384,952

⑶　退職給付費用に関する事項

（単位：円）

区　　分	自　平成26年４月１日 至　平成27年３月31日
勤務費用	407,958,054
利息費用	36,772,040
数理計算上の差異の費用処理額	215,490,941
退職給付費用	660,221,035

⑷　退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

区　　分	平成27年３月31日現在
割引率	0.6％～1.2％
退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
数理計算上の差異及び過去勤務債務の費用処理方法	発生年度に一括処理

Ⅲ　損益計算書に関する事項

前期損益修正の内容

前期損益修正損として、任継掛金還付等により411,118円、団体信用生命保険適用による償還金の精算により543,572円、普及費等の精算により251,365円、償却費受入過剰計上による精算により37,486,700円を計上しております。

前期損益修正益として、保健費等の戻入等により360,060円、過年度分諸手当等の戻入により303,593円、貸付金利息等の精算により9,279,555円、減価償却費の精算により37,700,983円、償却費繰入過剰計上による精算により37,486,700円を計上しております。

Ⅳ　キャッシュ・フロー計算書に関する事項

資金期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金	59,559,090,089円
定期預金	△ 43,180,000,000円
資金期末残高	16,379,090,089円

Ⅴ　重要な債務負担行為

該当する事項はありません。

Ⅵ　重要な後発事象

該当する事項はありません。

共済業務勘定

貸　借　対　照　表

（平成27年３月31日）

（単位：円）

資産の部			
Ⅰ　流動資産			
現金及び預金		7,395,618,916	
有価証券		3,162,454,466	
未収入金		218,817,980	
掛金振替未収入金		314,850,502	
立替金		110,637	
前払費用		1,133,610	
未収収益		2,869,774	
流動資産合計			11,095,855,885
Ⅱ　固定資産			
１　有形固定資産			
建物	2,798,948,533		
減価償却累計額	△ 1,905,883,229	893,065,304	
構築物	84,521,002		
減価償却累計額	△ 74,817,908	9,703,094	
工具器具備品	136,379,666		
減価償却累計額	△ 114,063,345	22,316,321	
土地		583,156,700	
有形固定資産合計		1,508,241,419	
２　投資その他の資産			
投資有価証券		3,000,000,000	
敷金・保証金		1,127,000	
投資その他の資産合計		3,001,127,000	
固定資産合計			4,509,368,419
資産合計			15,605,224,304